

第 13 回

技術教育賞

本賞は、学校および社会教育における、
自動車技術に関する人材育成・教育の向上発展を
奨励することを目的として2009年に設置されました。
今回は1件に授与いたします。

賞の概要

対象となる者

- 自動車に関する研究開発、技術創造、ものづくりなどにおいて、学生・生徒ならびに若手技術者を指導、育成し、優れた活動・成果をあげた個人若しくはグループ
- 技術者育成・人材育成プログラムの創設や教材開発および普及に貢献し、その功績が顕著な個人若しくはグループ

対象となる活動

- 自動車に関する学生創造活動に対する指導・支援
- 本会、各種団体、企業における自動車技術者育成事業の運営・推進
- 自動車に関する教育出版物の執筆、制作
- 学会誌等への技術者教育関連記事の執筆
- 新しい教育システム、教育プログラムの創設や技術者育成教育の啓発活動
- その他自動車に関する人材育成・教育の向上発展に貢献していると認められる活動

技術教育賞

軽量化技術開発における学会誌等への技術者教育関連 記事執筆と技術者育成教育の啓発活動

岩野 吉宏 (いわの よしひろ) 【トヨタ自動車株式会社】

受賞理由

受賞者は、軽量化技術における知見を、論文投稿や発表、基調講演、インタビュー、会誌投稿など技術者教育関連記事を様々な手法で国内外に発信、自動車産業における技術力向上を推進した。また、受賞者は自動車産業だけでなくデジタルや福祉産業など幅広い業界の基調講演や、技術者育成はもちろん経営者育成も実施した。2013年から名古屋ナショナルコンポジットセンター研究委員として立ち上げ当初から6年にわたり、金沢工業大学研究委員も兼任し、CFRP技術開発と技術者育成活動を実施した。また、自動車における軽量化技術を継続的かつ独創的な開発により多くの特許を輩出、所属企業だけでなく国プロジェクトに参画する事で自動車業界の技術開発に貢献した。

さらに、従来のCFRP軽量化だけでなく、カーボンニュートラル指標での改革も急務であり、戦略を工夫し活動をより一層充実させるパイオニアの育成に従事。革新的なマテリアル技術シーズの発掘・育成を行い、マテリアル・イノベーションを加速する研究開発を後押し、国プロジェクトによるオールジャパンの活動から中小企業の技術と技術者育成まで幅広い人材育成活動を実行した功績を認めるものである。